

てあわせワークショップ

2012ふゆ-2015なつ

いしのまき
ひがしまつしま
みらい
おおまがり
あかい
わぶち
しえんがっこう
ゆうがくかん
まんがかん
ほけんせんたー
いおんもーる

ひと・しぜん・わたしたち・・・公開ひょうげんワークショップ

てあわせでしあわせ

パート2

2015年8月22日(土)

せんだいメディアテーク オープンスクエア(1階)

13:00~16:00(入場無料)



〈主催〉表現未来の会 代表：西洋子(東洋英和女学院大学) 三輪敬之(早稲田大学)
科学研究費助成事業基盤B(平成25-27年度) 25282187創造的な身体表現活動での共振創出に関する研究-身体的共創から社会的共創へ-
〈共催〉(株)北上の郷 児童福祉サービスセンターみらい(石巻市)
〈協力〉宮城県立石巻支援学校・NPO法人 みんなのダンスフィールド

オープニング・スライドショー 13:00-13:30

そして、これから

〈てあわせ〉東松島ワークショップ・「みらい」ワークショップの記録

スライドショー制作委員会

(東松島ワークショップメンバー・早稲田大学三輪研究室・東洋英和女学院大学西ゼミ・みんなのダンスフィールド)



一万枚近くの写真の中から笑顔を選定したときに、数千枚の笑顔のほとんどが人と人とが触れ合っている場面だったことが印象的でした。
(伊藤晃人/早稲田大学三輪研究室 修士2年)

はじめて手合わせをしたときのどきどきやわくわく、共に表現をして同じ気持ちになれたときの感動。手合わせには、一人ひとりのストーリーがあります。そんなみんなの思いをぎゅっと、お届け致します。
(石井友佳/東洋英和女学院大学西ゼミ 卒業生)

どの写真、どの曲なら「てあわせ」が伝わるかな…とあれこれ試行錯誤して、やっと出来上がった作品です。
(笠井絵未/みんなのダンスフィールド)

てあわせワークショップ 13:30-14:45

みんなのてあわせ

「みらい」ワークショップ(石巻市) 東松島ワークショップ(東松島市) みんなのダンスフィールド(東京都)

ファシリテータ: 阿部圭子(石巻市) 後藤洋二(大崎市) 佐々木芳子(石巻市) 戸田祥子(東松島市) 松川久美(石巻市)
松川陽香(石巻市) 松川広美(東松島市) 森雅彦(石巻市)
今野祐子/阿部美香/菊池陽子/東海林亜弥子/茂木和江(石巻市児童福祉サービスみらい)

ファシリテータとして一緒に創りあげていくことで色々な表現に驚きの連続。毎回新鮮な気持ちになります。それぞれの持つ表現や表情の豊かさを育んでいける素敵な活動だと思います。これからも色々な発見ができること楽しみにしています。(ファシリテータ 菊池陽子)

身の回りの身近な自然の移ろいや生き物たちのいとなみに感覚を研ぎ澄まし、身体で感じて表現していきます。即興表現はやがて手合わせの世界へと誘われていきます。(ファシリテータ 森雅彦)

ダンスパフォーマンス 15:00-16:00

「てあわせバトル・おどる・どるどる」(2015年東京初演・企画制作:西 洋子)

出演: みんなのダンスフィールド(東京都)

飯島愉楽 飯島幸子 海老沼寛乃 大川日向子 大川明子 大谷野の子 大谷久美子 笠井裕生 笠井絵未 笠井美保
加藤芳史 加藤朋代 桐悠太 桐弘明 木津石生 木津雅代 小林伸行 坂本恵美 佐藤夏希 千葉遥 千葉瑞枝
中田麻衣子 三木由美子 村中海流 村中亜弥 平田雄大 手鹿知希 小林采可 佐藤由美 田上咲

「ふるさとのめぐみ」(2014年石巻初演)

作・語り: 森雅彦(石巻市) 音楽: 東弘美(東松島市)

出演: みんなのダンスフィールド(東京都)・参加者一同



ふるさとの豊かな自然とその恵み、地域の祭りなどを織り交ぜ、みんなで新しい表現をつくり展開していきます。江戸時代、仙台藩や南部藩のお米は石巻に集積されて千石船で石巻から江戸に運ばれました。目の前には世界三大漁場の一つである金華山沖漁場があり、四季を通して新鮮な魚介類が捕れます。夏祭りも盛んで石巻の川開き祭り、東松島の夏祭りがふるさとの夏を熱く彩ります。

当たり前食べていた…いつでも食べられると思っていた海のさち。震災後、そうではないことに気付かされました。石巻地方の豊かな自然である海や山や川そして島々と大空。あらためてこのふるさとの豊かな自然にふれてみて、その尊さ・めぐみに感謝する気持ちが強く湧いてきました。また、変わりゆく街並みを見てかつの賑わいや先人の偉業、先人からの贈り物に思いを馳せると、ふるさとの再生を願わずにはいられません。そんな思いを東京のダンスフィールドのみなさんに共有していただき即興表現していただくことは、東京のみなさんとの繋がりを感ずることができ大変光栄なことです。心から感謝申し上げます。(森 雅彦)

石巻の山に降り注ぐ雨、それがせせらぎに、せせらぎが集まって川となる。川は大きく表情を変え、金華山沖の魚たちが泳ぐ海へと流れる…。石巻の方が想う石巻の情景とは何か。関東にいる私たちはわかりません。しかし、実際に石巻の自然に触れ、石巻の方々の温かさや力強さなどの想いを感じました。その想いを私たちはからだの全部を使って表現します。(木津石生/みんなのダンスフィールド)



感謝

西 洋子（東洋英和女学院大学 教授）



石巻・東松島であわせワークショップ・・・。

ゆっくりと声にだすと、清々しい響きがここに広がります。

それは地名を超えて、この地で出会ったひとつひとつの手の感触そのものです。動きの中に見え隠れする不安や戸惑い、驚き、それらを超える表現の力の不思議さとあたたかさです。表現世界を包み込み、自在にうねる空や土、川や海、草花と木々・・・暮らしに添う自然の心像です。そして、2年8か月をかけて、わたしたちみんなで育ててきた、あの場所に流れるかけがえのない空気です。

どこにいても、この風がこころを撫でていくとき、わたしたちはともに在ります。きっとみらいも、そうなのだと思うことができます。

石巻・東松島での出会いのすべてに、深い感謝をささげます。

共創

三輪 敬之（早稲田大学 教授）



手のひらを互いにあわせて即興的に表現を創りあっていく“あわせ”ワークショップ(WS)が定期的開催されるようになってから27回目を迎えます。ここでは、身体表現を通じて“生き生き感”が生まれることによって、一人一人が“自分である”実感を取り戻していきます。みんながファシリテータになって、場を耕し、場を温めてくれるのです。WSの現場にあるのは、“表現を共創すること”、ただそれだけです。それなのに子どもたちは、家族とともに月1回のWSを心待ちにしてくれています。どうしてなのでしょう。そこには、「する、される」といった区切る世界から解放された、区切らない世界の居心地の良さがあるように思えます。モノやおカネに決して還元できない、心の贈り物を発見することに喜びを感じているのかもしれない。手合わせ表現は、生きとし生けるものが共に生きていくことの原点に私たちを回帰させてくれるのです。



「あわせ」とは

あなたと私を手を合わせ、からだでコミュニケーションをとりながら、いっしょに新しい表現をつくりだす活動です。

むずかしいルールは何もなく、こちよ音楽の流れる中、自己を開放して、多くの仲間と楽しみながらからだを動かします。

宮城県での月に1回の活動は、2012年の12月から始まり、今回、27回目をむかえます。これまで、2500人以上の方々に参加いただきました。

子どもと大人が、女性と男性が、障害のある人となない人が・・・それぞれの個性をいかし合い、自由に新しいつながりをつくりだしています。

てあわせで育む豊かな〈いのち〉

本多 直人（仙台市）



東日本大震災からはや4年。この大災害によって心身共に元気を失っている子供たちに向けて何か出来ることはないのだろうか。そんな問いかけから始まった身体表現を通しての小さな一歩。時かれた種は、東松島をはじめとする豊かな人々の心の土によって生まれ、一人ひとりの〈いのち〉と〈いのち〉が「てあわせ」という形でつながって、空に向かってその葉をいっぱい伸ばし、豊かな〈いのち〉に満ち溢れた森になりました。

みなさん、まずは全てを投げ出して、そのままに手と手をあわせ、豊かな〈いのち〉を感じてみてください。



東松島ワークショップ2015年7月

手合わせは表現×表現 = ∞ !

東 弘美（東松島市）



手を合わせて相手の体温を感じた瞬間、自分の中の緊張や、引っ込み思案がすうっとほけていって、いつの間にか表現する事に夢中になっているのですから不思議です。

私はみんなの自由で個性溢れる表現を身体中で感じたままにピアノで表現させていただいております。

私の演奏がみんなの表現の邪魔になっていないかしら、この後どのような展開があるのかしらと、ドキドキします。

手合わせがどんどん好きになってます！



石巻「みらい」ワークショップ2015年5月

みらいと「teawase」

今野 祐子

（石巻市・児童福祉サービス「みらい」）



2012年の夏。

「みらい」初めての夏休み。子どもたちとどんな活動をしようか考えていたところに1枚のチラシが・・・「インクルーシブダンス」どなたでも思い思いに・・・という言葉に引き寄せられ、自分のことを伝えることが苦手なことが多い子どもたちのきっかけになるかも・・・と思い参加して今年で3年。みらいでのワークショップは主に土曜日の午後。金曜日になると「明日でてあわせある？」と職員に聞いてくる子どもたち。手と手を合わせることで、温もりを感じることで少しずつ通じ合っている実感。たくさんの方々につながることで、とっても大切な時間になっています。

たくさんの想いが伝わりますように

宮城県立石巻支援学校 校長 相澤 一夫



何かを願ったり、祈ったりして自分で手を合わせる。そこには自分自身へのメッセージがありますね。では、他の人と手を合わせる時、その気持ちや感情とはどんなものなのでしょう。自分自身が手を合わせるのとは違い、そこには、声にはならなくても、相手への意識やメッセージが自然と生じているものではないでしょうか。

大人と子ども、男性や女性、障害の有無にも全く関係なく、「てあわせ」という活動の中で、楽しさ、嬉しさ、触れ合いたい、気持ちを伝えたい、私をみて、あなたはどんな人、・・・∞ など、今回のワークショップで、たくさんの想いが伝わるといいですね。

森 雅彦 (石巻市)



東松島ワークショップは私たちにとってかけがえのない場になっています。もう手合わせのない世界は考えられないと、みなさんが強く思うようになりました。当初予定の3年が経過して、これからは自分たちの手でこのワークショップを継続させていきたいと思っています。そのためには、メンバーひとり一人がアシリエータとなって、みなさんの豊かな表現が自然と湧き上がり、みなさんがつながれるよう研鑽を積んでいきたいと思っています。

このワークショップを立ち上げ、これまで遠いこの地に何度も足を運んでくださった西先生、三輪先生はじめ多くの先生方、東京の皆さんに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

松川 久美 (石巻市)



言葉の表出の難しい娘は、てあわせを毎回楽しみにしています。ダンスが大好きで音楽に合わせて、感じたままにイメージをふくらませ、他者と触れ合いながら、新しい表現を創り出します。てあわせに出会い、身体表現の楽しさを学んでいます。好きなことを楽しんで、身体もゆったりと柔らかくなってきました。

多様な人々と、手のひらを合わせ、思いを伝え合い、つながっていく、みんなの笑顔が弾けて、生き生きとした表現が生まれます。そこには、温かくて居心地の良い「場所」があります。石巻にも、てあわせが浸透して、みんなの居場所づくりができることを願っています。

阿部 美香

(石巻市・児童福祉サービス「みらい」)



手と手を合わせると、優しさ・温かさ・力強さ・頑張ろうとする気持ちなどが、こぼれはななくとも手から伝わる心地良い時間です。

昨年のイオンモール石巻での経験が自信につながり、今年は仙台メディアテークでの公開ワークショップで、また1歩前進！これまで以上にたくさんの方々を知って頂き、表現活動の新しい輪がますます広がり、この経験が新たな成長になることを信じて・・・みなさんとの出会いに感謝いたします。

東海林 亜弥子

(石巻市・児童福祉サービス「みらい」)



T E A W A S Eを通じ、子ども達がどんな表現を見せてくれるかいつもワクワクしています。回数を重ねるたびに新しい発見ができ、刺激的で楽しい時間となっています。手と手を合わせ、言葉ではない何かをそれぞれが自由に感じとりながら人との関わりを体全体で感じられるこの時間や仲間が、私たちにとってとても心強い存在です。遠く離れていてもなんだかとても近く感じる・・・そんなT E A W A S Eが大好きです。

戸田 祥子 (東松島市)



息子の智之の興味の幅は狭く、皮膚感覚が過敏で触れられることを嫌がります。「表現」や「ダンス」とは、最も遠いところにいるように思っていました。初めて連れていった時は、ぐるぐる歩き回ったり、隅っこにしゃがんでいたりして、最後に1回タッチしただけでした。それが今では、西先生と相談(?)して、「表現」するようになりました。とは言っても、それはごく短い時間です。できるようになったことより、「自分を表現したい」という智之の気持ちに気付くことができたのが嬉しいのです。月に一度の「てあわせ」を親子で楽しみにしています。この、かけがえのない時間をこれからも大切にしていきたいと思っています。

松川 広美 (東松島市)



毎月一度のてあわせ表現の中で、表現の源として欠かせない物は、街の自然でした。あたり前のようにある海、山、そこに生きる物たちが、これまでも、これからも私達の豊かな心を育ててくれていると気付かされました。そして、表現することは一方的ではなく思いを受ける側があり、表現が成立すること。私達の日常も、互いに伝え理解し合うことで心の安定と自身の成長に繋がっていることを学びました。

てあわせには、いつも多様な方のご参加があります。人が変わると新しい息吹が流れ、いつもの空間が新しい空間へと生まれ変わります。私達の心地よい場所は毎回、生きる力の湧き立つ場となっています。恥ずかしがりやの大成ですが、家では変顔で、私とてあわせをしてくれます。

佐々木 芳子 (石巻市)



手と手を合わせるという事は単純ですが握手・ハイタッチ等、自分以外の方との挨拶や喜びを分かち合う方法でよく目にする光景です。音楽が流れ手と手を合わせて相手の動きを感じたり時には自分から動いてみたりテーマに沿って花や生き物・自然を感じたりとなんともいえない世界に導かれます。

娘はいつもお気に入りの場所に座り好きな音が流れ誰かに背中を押されると一人でクルクルと回っていますが、いつか自ら進んで誰かの手と合わせ共鳴し一緒に表現出来れば素敵だろうなと感じます。その為には、先ず親の私が殻を脱ぎ一歩踏み出し進んで行こうと思います。



手合わせは皆と花になったり、さかなになったり、手をつないで動いたり楽しいです。一番楽しいのは風になって走る事です。(佐々木葵衣/8歳/石巻市)

開放的な空気の中で、風になって踊っています。(T・Y/石巻市)

毎月カレンダーにはなまるを付けて楽しみにしています。(菅野真二/東松島市)

手と手がつながってお互いを感じるままに表現することが楽しいことを“誰かに伝えたい”そんな気持ちにさせてくれます。(H・R/石巻市)

大人も子どもも自由に表現できるあわせは、みんなの“共通言語”なんだと思います。てあわせのつながりは言葉以上です！(川嶋賢治/つくば市)

手と手を合わせ、心のキャンパスに景色を描いていくような息子であってほしいなあ~と思っています。(阿部由利子/光浩の母/東松島市)

ちょびりコミュニケーションが苦手なお子さんと、手と手をあわせることができた時、心と心が通じたようで、とっても嬉しくなります。「てあわせ」は心と心が通じ合えるとても素敵で不思議な空間です。(須田幸子/石巻支援学校)

人と人のあったかいぬもりを感じます。そして私はおひめさまのたまごをみつけます。(松川陽香/18歳/石巻市)

日向ぼっこをしているような感じが好きです。(T・M/T・Yの母/石巻市)

かえるになって跳ねたり、魚になって泳いだり、みんなできて楽しいです。(木村ほのか/13歳/石巻市)

手合わせが大好きで積極的に参加したり、休憩時間にはみんなのお手伝いをしているところを見てほのぼのとした気持ちになります。(佐々木まり/心花の母/石巻市)

手合わせに行くと、みんなのもとに自ら入って行き、踊っています。言葉で話すことが苦手な息子ですが、身体全体でいろいろ表せるのが本人は楽しいのでしょう。(阿部圭子/泰河の母/石巻市)

手合わせで、いろいろな事をゆったり踊ったり、皆と一緒に手を合わせて風になって踊ったりするのが大好きで楽しいです。(山崎久美/千穂の母)

初めての場に行くとき緊張する娘が、吸い込まれるようにみんなの輪の中に入って、音楽に合わせて身体で表現している姿から楽しさが伝わってきました。(木村恵美/石巻市)

ぼくは、白鳥になって飛んだり、めだかになって泳いだりするのが、とっても楽しいです。(及川史人/24歳/石巻市)

ぼくは、てあわせが大好きです。毎月楽しみにしています。(戸田智之/16歳/東松島市)

てあわせは、(はずかしい...でも、みんなに会うことが楽しい。(松川大成/18歳/東松島市)

私にとって“てあわせ”の時間はとても心地よく清々しい気持ちになり自然と嫌なことも忘れさせてくれます。身体を使って表現することでココロがリセットされ元気にしてくれます。(K・S/東松島市)

手や目を合わせる事が苦手だった娘が、手合わせを楽しめる様子がとても感動的です。23歳ですが、まだまだ伸びしろはありそうだと実感しています。(千葉久美子/加奈子の母/石巻市)

初めて手合わせに誘ってもらった時は、大変嬉しかったです。何回か参加するうちに、すっかりはまってしまいました。ずっと参加したいです。(後藤洋二/大崎市)

初めての場所に慣れるまで時間のかかる、うちの子が2回目で手合わせに引き込まれました。自由に表現する我が子を見てとても嬉しく思いました。(安部智美/玲於奈の母/石巻市)



初めて参加したときは、どのようにするのが戸惑いました。笑顔で参加している子ども達の様子を見て私も一緒にあ・わ・せをしていました。子ども達、参加している皆さんと一体となり楽しい時間を過ごさせて頂きました。(茂木和江/指導員)

震災後から家の中にいることが増えほかの人達とコミュニケーションが取れないでいた雅司がワークショップに参加して今では自分からほかの人と話しながらコミュニケーションが取れるようになりました。たくさんの先生方に感謝します。ありがとうございます。(阿部好恵/保護者)

「てあわせで しあわせ」正にその通り！！はじめは隅に隠れていた息子が自然に笑顔になっていました。笑顔＝穏やかになれる時間です。(石川悠里/保護者)

手合せに参加して僕は楽しいです。毎回楽しみにしています。みらいワークショップ・東松島ワークショップもどちらも楽しかったです。ワークショップの先生方本当にありがとうございます。(阿部雅司/河北中学校1年)



互いに手を合わせ、手を感じながら、見えないものを見、触れられないものに触れているのだなあと感じます。(前川美行/東洋英和女学院大学准教授)

こんにちは。はじめまして。また会えて嬉しい！——そんな思いが手から伝わります。時には力強く、時にははいたるように。身体の奥底を、優しい風がなでくれるようです。(弓削田綾乃/早稲田大学招聘研究員)

東松島ワークショップで出会ったみなさんと毎月表現をすることが、私の何よりの楽しみ！心の底から、ほかほかになる、このワークショップが大好きです。(石井友佳/愛心幼稚園教諭)



メッセージ 関東からの参加者

日常のふとした瞬間に、森先生の言葉とみんなののびやかなからだの動きが響きあうことで創り出される心地よい「間」が思い起こされ、心が穏やかになります。(板井志郎/早稲田大学助教)

これまで「てあわせ」でつながりあった、たくさんの方々に これから「てあわせ」で出会う人たちに てあわせの広場は、いつでも「おいでよ」と微笑んでいること ずっと伝えていきたいです。(村中亜弥/NPO法人みんなのダンスフィールド教育スタッフ)

はじめは手を合わせない人もいます。ハイタッチからはじまって、お魚や天の川の表現をするようになりました。言葉だけではお話を沢山しました。そんな変化が嬉しいワークショップです！(葛間香里/幼稚園教諭)

手をあわせると自然とみんな笑顔。笑顔の花が咲き、あたたかな風に包まれ、気づけば誰もが表現している心地よいこの場が、これからもずっと続いていきますように。(吉田明子/日本大学助教)

料理はできあがると料理として完成しますが、料理の目的においては食べられるまで、未完成です。つまり完成にして未完成。手合せは、人に向かって完成しながら人とつながるまで未完成。これは表現の本質です。(郡司幸夫/早稲田大学教授)

みなさんの素敵な笑顔と暖かい手の温もりで、make the world better place! (野口晴子/早稲田大学教授)

一緒に表現した子どもたち、お母さん、お父さん、先生、兄弟姉妹…。いつも思い出していました。お花や鯉のぼり、風になった表現は、今も鮮やかな身体の記憶として残っています。広い視野と深い学び、大きな喜びを与えてくれる場です。(秋田有希湖/鶴見大学短期大学部講師)

「戸惑い」「照れ」「不安」…。そんな感情も全て包み込んで優しくあたたかな時間が流れます。自分自身もその空間に溶け込んで、ある時は、心地よい波に揺られる小舟になり、またある時は小舟を包む波になる、そんな不思議な空間です。(高橋うらら/東京都市大学准教授)

表現で出会う・表現でつながる

身体がこわばっていた私に笑顔で近づいてくる子供たち。壁なんか無いのです。気付いたら、私の顔もほころんでいました。あの場所には、ふんわりとあたたかい、ポジティブな空気が満ちていると思います。(西貝恭輝/早稲田大学大学院修士2年)

石巻・東松島に行くと感じが研ぎ澄まされ、普段の生活では見落としていたもの大切さを感じます。楽しいのはもちろんですが、心が豊かになり日々の生活の充実度が増すところが魅力であると思います。(内藤帆南/東洋英和女学院大学4年)

グループで白鳥の群れになり、「バフ、バフ」と言いながら手を動かして飛び立った時、一羽の大きな白鳥になったように感じました。石巻になじみのある白鳥と一緒に表現できた喜びを今でも思い出します。(安藤栄美乃/東洋英和女学院大学4年)

からだを精一杯動かし、笑顔でイキイキと表現されている皆さんの姿に触れて、僕自身が、年齢を重ねるたびに表現することが当たり前になり、楽しむことを忘れていたことに気が付かされました。これからも、あたたかな皆さんとともに、楽しい時間を共有していきたいです。(加藤芳史/みんなのダンスフィールド)

もう一人のタイガ君たちと一緒に創った“ハンバーガー”という作品が今でも忘れられません。皆で我武者羅にもみくちゃになって、“表現って楽しい！”と心から思える瞬間でした。(岩成大河/早稲田大学大学院修士2年)

初めての被災地ということもあり、緊張していた私ですが、会場全体に広がる子どもたちの笑顔、お母様方のパワー、温かい雰囲気にも包まれながらたくさんの方の温もりや絆を心と身体で感じるこの出来た時間でした。(小林采可/東洋英和女学院大学4年)

車いすで東京から石巻へ！この私の想いを支え、手を取ってくださった皆さんに感謝です。手を合わせて伝えていきたい。出会えた嬉しさ、どきどきとわくわく！(佐藤夏希/みんなのダンスフィールド)

出会ったのは、震災後も懸命に子どもを支えてくれたお母さんたち。内から溢れ出るパワーにこちらが元気付けられました！(木津雅代/みんなのダンスフィールド)

石巻・東松島の人たちとお友達になって、一緒にダンスを楽しみたいです！(^o^)/ (桐悠太/小学3年生/みんなのダンスフィールド)

初めて参加された方々が始めは不安そうな顔をしているのの中に入ってすぐに笑顔で明るく皆さんと表現をされたのを見て、自分もふわっと気持ち明るくなったのを今でも覚えています。(平田雄大/早稲田大学大学院修士1年)

とも君と一緒にピアノを演奏したことがとても印象に残っています。自由に表現しているにも関わらず、重なり合った音がとても心地よく、ずっと演奏していたい様な気持ちになりました。(菅野雄大/早稲田大学大学院修士1年)

いろんな人に会えたら、いろんなことがわかるかな。せんだいでのワークショップは楽しくやりたいです。(飯島愉楽/小学4年生/みんなのダンスフィールド)

みんなと一緒に手を合わせていると、知らない同士なのに、何となく、相手の気持ちを読みとれたように感じた。今度、ハンドボールの試合前に、チームメイト同士でやってみよう。(高橋慶悟/小学6年生)

心地よい音楽と場の雰囲気、自然と身体が揺れ、心が弾みました。また参加したいと思いました。(芳賀洋子/78歳)



東松島ワークショップ

- | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 第1回 2012年12月9日 東松島市赤井市民センター | 第2回 2013年2月11日 東松島市赤井市民センター | 第3回 2013年3月20日 東松島市赤井市民センター |
| 第4回 2013年4月28日 東松島市赤井市民センター | 第5回 2013年6月8日 東松島市赤井市民センター | 第6回 2013年7月14日 東松島市赤井市民センター |
| 第7回 2013年8月23日 東松島市大曲市民センター | 第8回 2013年10月13日 宮城県立石巻支援学校 | 第9回 2013年11月4日 東松島市赤井市民センター |
| 第10回 2013年12月22日 東松島市赤井市民センター | 第11回 2014年2月23日 東松島市大曲市民センター | 第12回 2014年3月22日 東松島市赤井市民センター |
| 第13回 2014年4月13日 東松島市赤井市民センター | 第14回 2014年5月11日 東松島市赤井市民センター | 第15回 2014年6月8日 東松島市赤井市民センター |
| 第16回 2014年7月13日 東松島市赤井市民センター | 第17回 2014年8月23日 東松島市大曲市民センター | 第18回 2014年10月12日 宮城県立石巻支援学校 |
| 第19回 2014年11月23日 東松島市赤井市民センター | 第20回 2014年12月21日 東松島市大曲市民センター | 第21回 2015年2月11日 東松島市赤井市民センター |
| 第22回 2015年3月8日 東松島市赤井市民センター | 第23回 2015年4月12日 東松島市赤井市民センター | 第24回 2015年5月31日 東松島市赤井市民センター |
| 第25回 2015年6月13日 宮城県立石巻支援学校 | 第26回 2015年7月12日 石巻市遊楽館 | |

石巻「みらい」ワークショップ

- | | | |
|-------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 第1回 2013年4月27日 石巻市児童デイサービスみらい | 第2回 2013年6月9日 石巻市児童デイサービスみらい | 第3回 2013年7月13日 石巻市総合体育館 |
| 第4回 2013年8月23日 東松島市大曲市民センター | 第5回 2013年10月12日 石巻市総合体育館 | 第6回 2013年11月4日 東松島市赤井市民センター |
| 第7回 2013年12月23日 石巻市総合体育館 | 第8回 2014年2月22日 石巻市総合体育館 | 第9回 2014年3月21日 石巻市総合体育館 |
| 第10回 2014年4月12日 石巻市子どもセンター | 第11回 2014年5月10日 石ノ森萬画館 | 第12回 2014年6月7日 石巻市河北総合センター |
| 第13回 2014年7月12日 石巻市総合体育館 | 第14回 2014年8月22日 イオンモール石巻 | 第15回 2014年10月11日 石巻市保健相談センター |
| 第16回 2014年11月22日 石巻市保健相談センター | 第17回 2014年12月20日 石巻市保健相談センター | 第18回 2015年3月7日 石巻市保健相談センター |
| 第19回 2015年4月11日 石巻市保健相談センター | 第20回 2015年5月30日 石巻市河南水辺の楽校公園 | 第21回 2015年6月13日 宮城県立石巻支援学校 |
| 第22回 2015年7月11日 石巻市保健相談センター | | |

ファシリテータ養成講座

- 第1回 2015年6月14日 石巻市遊楽館

《2015年10月のワークショップ・講座のご案内》

10月17日(土) 13:30-15:30 てあわせ 合同ワークショップ 会場：石巻支援学校体育館

10月18日(日) 10:00-13:00 第2回ファシリテータ養成講座 会場：赤井市民センター

参加を希望される方は、下記までご連絡ください。

・森 雅彦 080-1812-6888 ・東 弘美 abhrm.5115@ezweb.ne.jp ・児童福祉サービスみらい(今野) 0225-93-8052

